

所蔵図書(洋書)データベース(冊子)の概要と紹介

武田 福美 (資料室)
Yoshimi TAKEDA

1. はじめに

資料室にとって 図書(単行本)の蔵書目録作成は長い間の懸案課題であった。

蔵書目録のうち 外国雑誌 国内雑誌などは 既に第3版まで発行されているのをみても 蔵書目録は 若干の不充分さはあっても まず発行の軌道にのせることが先決であるといえることができる。

また 御承知のように これら既成の蔵書目録については 国内外雑誌データベースとして 昭和57年度に RIPS に入力され すでに検索可能になっており 一人和洋図書データベースの作成だけが立遅れていた。

資料室は 当初 昭和57年度の業務計画の一つとして まず 図書のうち洋書の蔵書目録(冊子)作成をとりあげ 初年度は印刷原稿の作成 昭和58年度発行を目指した。

図書蔵書目録の発行が遅れていた理由は 一般的な採録事項は決められていても 取扱う図書は個別具体的なものであり 運用や例外処理 境界分野 新規分野の取扱い シンポジウムや議事録など特殊図書についての対応が必ずしも充分でなく この分野の担当者も30数年を経過する中で何人ともなく交代し その間の引継が適切でなかったこともあり 採録事項に継続性 一貫性を欠くなど 目録作成上の問題点も多く 部分的な手なおしだけではすまない事情が この作業を一層困難にしていたといえることができる。

2. 目録作業の手順と作業内容

昭和57年度の業務計画の中の 図書目録作成計画についてまず説明しておきたい。

1) 目録名

地質調査所蔵書目録 II 図書 II-1 外国図書 第1版(キリール文字 中国文字を除く) 注) II-2 ソビエト図書 その他 II-3 国内図書として発行予定。

2) 内容

a 本体 UDC 分類による学問分野別分類に配列する(項目内はアルファベット順)。目録の記載形式は日本目録規則による。記載内容(著者 書

名 版表示 大きさ及び分類記号)

b 索引 著者索引(アルファベット順配列 著者 書名 掲載ページ又は通し番号)。書名索引(アルファベット順配列 書名 著者 ページ又は通し番号)。叢書名索引(シリーズ名索引)(アルファベット順配列 書名 著者 ページ又は通し番号)。

3) 作業

- a 学問分野分類カードのコピー作成 約8000枚
- b コピーカードによる現物との照合(カード記載事項及び分類について現物との照合 確認)。
- c 索引作成のためのアルファベット記号(著者 書名)の記入。
- d 原稿作成
目録本体のタイプ
著者索引 書名索引のカード並びかえ及びタイプ

4) 作業日程

- 5月 カードコピー作成
- 6月～8月 現物照合
- 8月～10月 本体原稿作成
- 10月～11月 索引原稿作成
- 12月 印刷原稿作成

以上の計画にもとづいて 目録作業の手順として次の段どりが検討され 決められた。

- 1) 作業用カードの複写と照合
- 2) 貸出中 事故本等の追求
- 3) カード記載事項の補正・訂正
- 4) 新規 補正 訂正カードの作成 追加
- 5) 原稿作成

更に作業内容について具体的にふれてみると次の通りである。

<照合・確認作業>

1) 分類番号

551.1→学問分野分類
A16-1→著者記号
a(2)→a b c重複表示 (2)(3)版表示

		①	
		②	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> ⑭ ⑮ ⑯ </div>			
(⑰)		(③)	
受入 昭和 年 月 日		版 ④	出版地 ⑤
登録番号		刊年 ⑦	頁数 ⑧
(⑱)		装釘	大きさ ⑨
		購入又は 受贈先 ⑩	価格 ⑪
事務用基本カード		部数 冊数 ⑫	備考 ⑬
所属		伊藤伊梨	

第1図
事務用カード

★ 事務用カード記入事項 < >は入力項目

- ① 著者名 <Author>
編著者 <Editor>
- ② 書名 <Title>
副書名 <Subtitle>
- ③ 叢書名 (シリーズ名) <Series-Title>
- ④ 版表示 <Version>
- ⑤ 出版地 <Address>
- ⑥ 出版者 <Publisher>
- ⑦ 出版年 <Year>
- ⑧ 頁数 <Page>

- ⑨ 大きさ <Size>
- ⑩ 購入, 受贈先
- ⑪ 価格
- ⑫ 部数
- ⑬ 備考 (受付No.)
- ⑭ 学問分野分類 <UDC>
- ⑮ 著者記号 <Author Code>
- ⑯ 巻, 重複, 版表示
- ⑰ 受入年月日 (物品受領年月日)
- ⑱ 台帳番号 <Address Number>

a 現物 (配架されている図書) の表示をそのまま記入する

b 著者記号はA16までとり 次の部分は今回の目録では省略する

2) 台帳番号

- a 無印 番号のみ
 - b 贈の次に番号
 - c 資の次に番号
- 3種類があるので 番号を確認 照合する

3) 著者名

a 1人の場合 原則として本の中表紙 (標題紙) を基本とし カードに誤りがあれば訂正する。但し フルネーム 一部省略の場合は 統一せず中表紙の記載通りとする。

b 共著者のある場合 著者4人以上は省略するので カードの著者記入は筆頭者と and others と記入する。但し本文が英語以外の言語の場合は and others の代りに et al. を使用する。

(例) Snock, J.K., and others

c 著者3名までの場合 筆頭者は著者記入し 他は書名のあとに First name だけはフルネームで記入しあとは省略形で記入する。

(例) by A. B. Bishop

d ed. comp. は 著者が個人の時だけ記入。著者が団体名のときは記入しない。

4) 書名

書き出し1語だけ大文字 他はすべて小文字。但し 固有名詞は大文字ではじまる。

5) 版表示

2nd ed., 4th ed. など現物に記載のあるものはすべて採録する。

6) 書誌事項

a 出版地 市名を記入してあるが 同一市名や識別上の必要があるときは [] で国名や州名を付記する。

(例) Cambridge [Eng.]

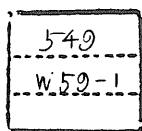
Cambridge [Mass.]

b 出版年 出版年と copyright 年が同一でないときは 出版年のあとに登録年を付記する。

(例) 1975, C1974

出版年が明記されていないときは 序文やあとがきなどの年代で代用する。

(例) [cover 1975], [Pref 1975]



Werner, A. G.

On the External Characters of Minerals, by
A. G. Werner, tr. by Albert V. Carozzi.
Urbana, University of Illinois Press, 1962.
xxix, 118 p. 24cm.

16581

(Original title: Von den äusserlichen
Kennzeichen der Fossilien, 1774)

第2図 基本カード記入例
(今回の入力の基本カード
による)

セット物 分冊発行のものは 1970—1975のよう
に最初と最後の出版年を記入する。

ればならないため 入力内容の検討にしばしば遭遇し
た。 次にその具体的な記入項目をあげてみると

7) 対照事項

- a ページ数 ページ付の分かれているものは 記
載の通り v, xii, 305p. と記入する。
- b 大きさ 高さだけ cm で記入する。
- c 叢書名 大きさのあとに () で記入する。

<図書基本カード記入の場合の記入事項>

- 1 請求番号 (Call No.)
分類番号と著者記号からなり 図書の蔵書中の
位置を示す。
- 2 著者名 (Author)
図書の内容に責任をもつ個人 または団体。
- 3 書名 (Title)
標題紙に書かれている図書の題名。 広義に
は共著者 版次等を含む。
- 4 出版事項 (Imprint)
出版地 出版者 出版年
- 5 対照事項 (Collations)
図書の形体に関する記述 ページ数または巻数
図版類 高さ (cm)
- 6 叢書注記 (Notes)
図書が叢書中の一部なら 括弧に入れて対照事
項の後に記述する。

3. 媒体入力作業と並行して

8月段階で 蔵書目録本体ができあがったあとの索引
作成作業は媒体入力を行えばより効率的であるので 媒
体入力による所蔵図書データベース作成の可能性につい
て企画室電算機管理室の担当者に相談した。 しかし
この提案を行うにしても 資料室の側に多くの難問があ
った。 まず 手足となる端末機がないこと 検索
プログラム 入力プログラムなどを作るだけの力量がな
いこと 現在作業中の蔵書目録作成も 書庫の都合もあ
り 毎日の閉館時間の合間を全員の共同作業ですすめて
おり 新しい課題にとりくむためにはマンパワーの問題
などがあった。

企画室電算機管理室からの回答は好意的であり 協力
していただけることになったので 4月段階で立案した
図書目録作成計画および作業内容の一部手なおしを行
い 洋書蔵書目録作業と並行して 媒体入力を行うことにし
た。

冊子形式の蔵書目録作業と媒体入力作業の間には 目
的は共通であっても そのプロセスには格段の違いがあ
った。 例外的なもの 共通項のないものなど図書整
理の基本カード記入ではそれほど問題にならなかったこ
とが媒体入力では 限られた入力項目の中で処理しなけ

<媒体入力の場合の入力事項>

- 1 Address Number (台帳番号)
番号の頭にK (寄贈) S (資料) T (戦災で焼失
をまぬがれた図書) で区別する。 1巻が数冊
に分冊されている場合番号のあとに—2 —3
の番号をつけたものがある。
- 2 Author (著者名)
中表紙の記載通り入力 書名を標目にして著者
がない場合は 書名を著者名とする。
- 3 Title (書名)

216790 ADD k2036
 216800 -AUTHOR Clark, Donald
 216810 -TITLE Australian mining and metallurgy
 216820 -SUBTITLE
 216830 -VERSION
 216840 -TRANSLATOR
 216850 -EDITOR
 216860 -SUPERVISOR
 216870 -ADDRESS Melbourne
 216880 -PUBLISHER Critchley Parker
 216890 -YEAR c1904
 216900 -PAGE xlviij, 566p.
 216910 -SIZE 26cm.
 216920 -SERIES_TITLE
 216930 -UDC 669
 216940 -AUTHOR_CODE C 76

第3図 入力例

定冠詞は除いて 書き出しの最初の文字は大文字とする。

4 Subtitle (副書名)

原則として 書名のあとのコロン セミコロンを記入。書き出しは小文字。

5 Version (版表示)

6 Translator (訳者名)

7 Editor (編著者)

Author にとつた場合は この項は記入しない

8 Supervisor (監修者)

9 Address (出版地)

10 Publisher (出版者)

原則として省略しない。

11 Year (出版年)

12 Page (ページ数)

Map sheet も記入する。

13 Size (大きさ)

14 Series Title (シリーズ名)

15 U. D. C. (分類番号)

16 Author Code (著者記号)

図書基本カード記入の特徴は 1冊の図書の戸籍簿的

McGraw-Hill book co. (N.Y.)
Macmillan & co. (L., N.Y.)
Masson et Cie
Murray & Gee, inc. (Culver City, Calif.)
John Murray, publishers (L.)
 North-Holland
 Nostrand
 Oliver
 Oxford univeristy press (L.)
Pergamon press ltd. (L.)

第4図 Publisher のとり方例

性格が強い。従って検索は他の要素(著者名 書名対象別など)もあわせて行うシステムになっている。

これに対し 入力項目は 検索の要素も加わっているため 基本カード記入では ある意味ではそれほど厳密さを必要としないこと たとえば単語の省略 記号の使用 文字と文字の間隔などに きわめて厳しい画一性と正確さが要求される。

また 基本カード記入では それほど重要視していない台帳番号とか 出版事項 対照事項 注記事項として軽く扱っていた 出版地 出版者 出版年 大きさ シリーズ名などが 著者名 書名などと対等に入力項目を構成するため 基本カードをもとにした入力作業においてしばしば混乱し この問題のほとんどが統一性を欠いたまま 今後の加除訂正作業にゆだねられることになってしまった。

4. 図書(洋書) データベース作成作業の成果

この作業の成果は二つある。一つは かねてからの目標であった外国図書蔵書目録(冊子)の完成である。そして もう一つは 端末から自由に検索できる外国図書のデータベース化の完了である。

この作業を通じて 痛切に感じさせられたことは カード目録作業と媒体入力作業が 本来 共通の場で考えられるべき性質のものかも知れないが 過去30数年にわたる目録作業が媒体入力を前提としたものでなかったこともあり 簡単に転換ができなかった。このことは同時に将来にむけて 基本カード記入のマニュアル作成へのひきがねになったということもできる。

このデータベース作成作業を通じて とすると媒体入力作業を敬遠しがちであった資料室の姿勢を大きく変えることになった。RIPS 端末の資料室設置は同時に速報 目録を含む資料室業務を変えることになろう。